

単元名 体育理論「運動やスポーツへの多様な関わり方」

令和3年12月7日（火） 第1学年 12名

1 単元目標と単元について

〈単元目標〉

- ・運動やスポーツは、体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生み出され発展してきたこと、「する」「見る」「支える」及び「知る」等多様な関わり方があること、自己に適した多様な楽しみ方を見つけたり工夫したりすることが大切であることなどを理解することができる。
- ・運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、生涯にわたるスポーツとの関わり方を考え、表現することができる。

〈単元について〉

本単元では、運動やスポーツは人々の多様な必要性や独自の楽しさによって支えられ発展してきたこと、運動やスポーツには多様な関わり方があることや、多様な楽しみ方があることなどを理解させ、生涯にわたって運動に親しむ態度を育むとともに、その方法について考える。

〈本単元で育成しようとする資質・能力〉

思考力

〈単元を貫く問い〉

○どうすれば生涯にわたって運動やスポーツを楽しむことができるのだろうか。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	運動やスポーツの必要性や楽しさを理解するとともに、運動やスポーツには多様な関わり方や多様な楽しみ方があることを理解できる。	運動やスポーツの必要性や楽しさ、多様な関わり方、多様な楽しみ方があることを理解した上で、自分の生涯にわたる運動やスポーツへの関わり方を表現することができる。 《思考スキル》多面的に見る	運動やスポーツの多様性の学習について、自主的に取り組もうとしている。 また、運動やスポーツの多様性について、学習したことを自己の生活の中に生かそうとしている。

3 本時の目標 【本時2／3】

これからの自分の運動やスポーツへの関わり方を考えることができる。

4 生徒の実態

本学級の生徒は、授業に意欲的に参加をしようとしており、学習内容を自己の生活と絡めて考えようとする態度も見られる。しかし、文字や言葉で具体的に表現することが苦手な生徒も見られる。

また、「体育理論」という小学校で学習することのない領域であることから、どのようなことを学習するのか、他の領域と比較してもイメージを持ってない生徒が多いと予想される。

本学級の生徒の運動部所属率は100%であり、運動やスポーツへの関心度は高いと考えられる。本授業を通して、自己の生涯にわたる豊かなスポーツライフを営む方法を理解したり、態度を養ったりすることを旨とする。

5 本時の展開

	<p>学習活動</p> <p>◎発問 ●中心発問 ・予想される生徒の反応</p>	<p>○留意点</p> <p>※個への手立て・支援</p> <p>評価</p>
<p>課題設定</p>	<p>1 前時の学習を振り返る。 スポーツの必要性や楽しさについて振り返り、スポーツを行うことのよさや生涯スポーツについて意識させる。 ◎運動やスポーツにはいろんな必要性や楽しさがあったよね、どんなものがあった？</p> <p>2 課題を設定する ◎みんなは運動やスポーツをずっと続けられる？ ・歳をとったら難しくなる。 ・怪我をしたらできない。→パラスポーツは？ ・病気になったらできない。</p> <p>課題設定</p> <p>本時の目標：これからの自分の運動やスポーツへの関わり方を考えることができる。</p> <p>●（中心発問：あなたは今後どのように運動やスポーツに関わっていきたいですか。）</p>	<p>○生涯スポーツの考え方についても振り返る。</p> <p>○「する」だけだと生涯は続けられない可能性があることを考えさせる。</p>
<p>学び合い</p>	<p>3 映像を見せ、どんな人が映っていたか答えさせる。 ◎今の映像には誰が映っていた？ ・陸上選手 ・体操選手 ・観客 ・審判</p> <p>4 運動やスポーツには多様な関わり方があることを理解させる。 「行う」「見る」「支える」「知る」の視点を持たせる。 「見る」（プレイや動きに感動、同じチームを応援する仲間達との一体感、チームや選手の勝利に共感） 「支える」（選手に近い目線で感動を共有、役に立つことの喜び、自分自身の成長、人との出会い） 「知る」（その競技への興味・関心がより高まる、行い方の工夫に繋がる）</p> <p>個人思考</p> <p>5 今自分が行っている運動やスポーツの中で、それぞれの関わり方の具体例を考えたり調べたりし、シンキングツールにまとめる。</p> <p>集団思考</p> <p>6 他の人と交流し、自分の物と比較する。</p> <p>個人思考</p> <p>7 シンキングツールにまとめたものを見ながら、これからの自分にできるスポーツへの関わり方を考える。 ◎これから先、どのように運動やスポーツに関わっていきたいですか。</p> <p>全体思考</p> <p>8 自分のこれからの運動やスポーツとの関わりについて発表する。</p> <p>本時のまとめ</p> <p>9 本時のまとめをする。</p> <p>本時のまとめ：運動やスポーツには多様な関わり方があり、その中から、これから自分がどのように関わっていけるのか考えていく。</p>	<p>○「行う」以外の視点にも注目させる。 ○必要があれば二回視聴させる。</p> <p>くま手チャート</p> <p>評価</p> <p>シンキングツールを使い、調べたことをまとめている。 「思考力」 ○くまでチャートを使用する。（多面的にみる）</p> <p>評価</p> <p>これから自分がどのように運動やスポーツに関わっていくのか表現している。 「知識活用力」(ワークシート) ○人の発表を聞いて、自分の選択肢を広げさせる。</p>
<p>振り返り</p>	<p>振り返り</p> <p>10 本時の学習を振り返りシートに記入させる。</p>	